

## 海外研究申請書

大阪公立大学 数学研究所  
文部科学省 共同利用・共同研究拠点  
「数学・理論物理の協働・共創による新たな国際的研究・教育拠点」  
若手研究者派遣プログラム

氏名（和文、英文、フリガナ）： 大阪太郎, Taro Osaka, オオサカタロウ
e-mail アドレス： <a href="mailto:sn12345n@st.omu.ac.jp">sn12345n@st.omu.ac.jp</a>
学籍番号（院生の場合のみ）、最寄り駅： DHA21001, 大阪市営地下鉄谷町線・中央線 谷町四丁目駅
所属・身分： 大阪公立大学大学院理学研究科数学専攻・博士後期課程3年
研究分野：表現論
研究テーマ：非 I 型の可解リー群のユニタリ表現
派遣先での研究計画概要： リー群の表現論は、群が I 型か非 I 型かで様相が一変し、非 I 型のリー群の表現論は未開拓の部分が大きい。本研究では具体的な非 I 型の可解リー群について既約ユニタリ表現を構成する新しい方法を開発し、Auslander-Kostant の軌道の方法との関係について可解リー群の専門家と討議し、セミナー発表する。 関連 URL（派遣先の研究機関、研究集会、受入研究者個人のページなど）： 受入研究者の個人ページ < <a href="http://ali-b.tn/">http://ali-b.tn/</a> > 指導教員の氏名とその職名（院生の場合のみ）：杉中花子, 教授 指導教員のコメント（院生の場合のみ）： 非 I 型のユニタリ表現の構成は重要な仕事と思われるが、専門家からの意見を聞いて、さらに発展することを期待したい。
派遣希望する海外大学・研究機関（部局名 or 研究室名も）： University of Sfax, Department of Mathematics 大学・研究機関住所： Route de Soukra, 3038 Sfax, Tunisia

大学・研究機関最寄り空港 or 最寄り駅：

**Sfax Station**

受入研究者とその職名：

**Ali Baklouti, 教授**

派遣希望日程：2023年10月2日出発 10月11日帰着

フライトプラン（案でよい）：

10月2日 関西国際空港 21:15→羽田空港 22:25

10月3日 羽田空港 1:00→ドーハ空港 6:30

10月3日 ドーハ空港 8:45→チュニス空港 12:35

10月9日 チュニス空港 16:00→ドーハ空港 23:25

10月10日 ドーハ空港 1:50→クアラルンプール空港 14:40

10月10日 クアラルンプール空港 22:15→関西国際空港 5:45（10月11日）

航空賃（概算）： 200,000 円

宿泊費（概算）： 100,000 円

※ 必要に応じて、ページを増したり、資料を添付してよい。